

T I C A D 9 インド洋・アフリカ経済圏フォーラム
石破総理 スピーチ(約5分)
(於：パシフィコ5階)

- 主催の日本経済新聞社様、そして御列席の皆様、本日は、このような機会をいただき、どうもありがとうございます。
「インド洋・アフリカ経済圏フォーラム」の開催を心から歓迎いたします。
- 本フォーラムが、我が国とアフリカとのパートナーシップを一層強化し、更にはアフリカの発展に向けた、我が国と、インドや中東諸国を含むインド洋諸国との連携を深化させる、貴重な機会となることを期待しております。
- 太古の昔、インドとアフリカはパンゲア大陸の一部として地理的に隣接し、その記憶は今も地層に刻まれています。中世には、インド洋の季節風に乗って商人たちが海を越え、織物や香辛料、工芸品を携えて活発な交易を展開しました。
- 時を越え、このインド洋アフリカ経済圏は、若い人口と多くのエネルギー資源を擁し、高い経済成長を実現する地域として、改めて存在感を高めています。この地域の連結性を一層高め、貿易・投資を盛んにすることで、更なる成長を実現する。そのために、我が国も、この地域の皆さんと共に取り組んでいき、アフリカの活力、ダイナミズムを取り入れたい。そうした思いで、本日、TICAD9 に合わせて「インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブ」を提唱したいと思います。
- これまで我が国は、自由で開かれたインド太平洋、いわゆるF0IP の実現に向けて取り組んでまいりました。今回のイニシアティブは、このF0IP のビジョンの下で、インド洋・アフリカ経済圏に焦点を当て、地域間の連結性を強化し、自由

で公正な経済圏の構築を図るものです。

- 日本企業によるインフラ、資源・エネルギー、IT といった分野への投資は、これまでも、アフリカの社会課題を解決し、若者に雇用を生む重要な役割を果たしてきました。
- 本日提唱したイニシアティブの下、私達は、更に、アフリカとインド洋諸国を結びつけ、この地域における日本とインド洋諸国の新たなダイナミズムをもって、アフリカによる域内統合や産業発展の取組を支え、さらなる成長へとつなげていきます。
- 現在アフリカでは、大陸全体で自由貿易圏を作るという壮大なプロジェクトが進行しています。こうした動きを後押しし、日本とアフリカの幅広い経済連携を強化する方策をアフリカと日本の産学官の代表で議論して行きます。ナカラ回廊広域オファー型協力などを通じてアフリカによる域内統合を促進するとともに、インド洋諸国とアフリカの連結性を強化します。
- また、共創・共業を基礎とした域内産業の発展と雇用の創出を進めるとともに、インド洋諸国との協力強化を推進してまいります。その際、アフリカのスタートアップ等と日本企業の協力を図る日本アフリカ産業共創イニシアティブにおいて、インド洋諸国の企業を含めた協業を支援とするとともに、アフリカ企業に投資する印投資ファンドに JICA が出資する等、我が国企業とインド太平洋地域の企業、そしてアフリカの企業の一体となった取組みを促してまいります。
- 例えば、既に、日本のダイキンやスズキは、インドのパートナーとともに、インド製のエアコンや自動車をアフリカに輸出するとともに、アフリカの若者に技術やノウハウを提

供し、地域産業の自律に貢献しています。今後、インドのモディ首相とも議論を深め、このイニシアティブを、地域全体の取組としていきたいと思います。

- このインド洋・アフリカ経済圏の更なる発展は、アフリカの発展に必ずや大きく貢献する、そのように私は確信しています。その実現に向けて、日本は、地域の皆さんと共に取り組んでまいります。そして、その実現の鍵を握るのは、言うまでもなく、この TICAD に集まってくださったアフリカ各国の皆さんです。日本は、アフリカの皆さんをはじめ、地域の皆さんと共に、このイニシアティブの実現にしっかりと取り組んでまいります。

(了)